

盛岡南公園球技場照明設備整備事業設計・施工者選定プロポーザル 要求水準チェックリスト(提案用)

参加者番号：

提案内容が要求水準書で示す内容を満たしているか、本チェックリストで確認すること。

- ① 「技術提案内容又は提案資料」の欄には、要求水準を満たす具体的な技術提案内容を簡潔に記載すること。提案書類に記載している場合は、様式番号を記載の上、内容を転記すること。
- ② ①の場合、「確認」欄には「○」を記載すること。
- ③ 要求水準を満たすが、具体的な記載ができない場合、また提案上必要性が無い項目については、その内容を「提案内容」欄に簡潔に記載すること。
- ④ 明らかに記載が不要だと判断できる項目は「確認」欄に斜線を入れること。

要求水準書				提案者記入欄		市		
項目	見出し	要求水準	確認	技術提案内容	確認			
I 総則								
2	事業概要	(4)	履行期限	各業務の履行期限は次のとおりとする。				
		ア	実施設計業務	令和2年8月10日までの期間。ただし、工事請負契約金額が1億5千万円未満の場合は、令和2年8月31日までの期間とする。				
		イ	工事施工業務	照明設備の点灯に必要な部分の工事は令和3年2月7日までに完成させることとし、それ以外の工事は令和3年3月7日までとする。				
		ウ	工事監理業務	令和3年3月7日までの期間で、上記イの完了時期と同日とする。				
II 要求水準								
1	本事業に関する基本要件	(1)	事業実施体制	ア	本事業の特殊性、専門性に対応した事業実施体制を構築すること。			
			イ	市内企業の活用に十分配慮すること。				
		(2)	適切な工程・計画	ア	設計・施工一括方式のメリットを生かした工期短縮に努め、履行期限までに完了できる具体的な計画とすること。			
				イ	工事期間中の盛岡南公園球技場内各施設の使用に影響を与えないよう配慮をした工程とすること。			
		(3)	円滑な競技運営に対する配慮	ア	Jリーグスタジアム基準をはじめとしたサッカースタジアムに関する各種基準に配慮すること。			
				イ	J3スタジアムとしての機能の維持とともに、従来から開催されてきた各種大会・イベント等の運営に支障を来さないよう配慮すること。			
		(4)	コスト削減に対する創意工夫		本要求水準書の内容を遵守しつつ、イニシャル・ランニングの両面からの総合的なコスト削減のための創意工夫をすること。			
		(5)	保守管理に対する配慮	ア	日常的な利用の操作性はもちろん、維持管理・保守管理・故障時の対応などの容易性・迅速性・安定性に対する配慮をすること。			
				イ	寒冷地等の立地特性を考慮した耐久性、耐候性、メンテナンス性等について配慮すること。			
		(6)	照明設備の幅広い活用		従来行われてきた大会・イベント等の賑わいをサポートするとともに、当該施設でこれまでにない魅力あるイベントの開催・誘致にも資するよう、幅広い利用を想定した創意工夫をすること。			
		(7)	環境等に対する配慮	ア	地球環境はもとより、本市の気候風土などに十分に配慮すること。			
				イ	敷地外に対する漏れ光、騒音、電波障害等の影響についてきめ細かく検討し、可能な限り影響を低減する適切な対策を講じること。			
		(8)	整備費用		省略			

要求水準書				提案者記入欄		市
項目	見出し	要求水準	確認	技術提案内容	確認	市
2 照明設備に係る要求水準	(1) 共通事項	ア	高効率機器及び省エネルギー手法の採用により、エネルギーの節約を図ること。			
		イ	イニシャル、ランニングの両コスト及び運用上の信頼性において、最も有利と考える方式を提案すること。なお、既存の電力需給契約の変更や自家発電機の設置その他の電力供給方式等についても提案事項である。			
		ウ	日常的な利用の操作性はもちろん、維持管理、保守管理、故障時の対応などの容易性、迅速性、安定性に配慮した計画とすること。			
		エ	機器の不具合発生時は、代替機器や修理部品等を迅速に準備し、速やかに不具合を是正できるような計画とすること。			
		オ	防水性や耐候性はもちろん、立地特性を考慮し、耐積雪性等に配慮した計画とすること。			
		カ	配線は可能な限り既設の埋設配管を使用し、電線等の架空配線は行わない計画とすること。			
		キ	既存の建築物等の構造の変更はしないこと。			
		ク	バックアップ電源への切り替え等により、停電時も最低3時間は平常時と同様に稼働できる計画とすること。			
		ケ	提案内容によって必要がある場合は、受変電設備、自家発電機、幹線設備、埋設配管等の改修又は増設、既存の電力需給契約の変更を行うこと。また、電力需給契約は、既存の契約の変更とし、新たな契約は行わないこと。			
		コ	事業スケジュールに支障がないよう、必要な各種許認可、届出等の手続を実施すること。また、市が必要とする場合は、各種許認可等の写しを提出すること。			
	(2) 照明設備に関する事項	ア	使用する照明器具は、次の要件を満たすものとし、Jリーグディビジョン1のクラブライセンスを保有するクラブの公式戦が行われた競技場への納入実績があるメーカーの製品とする。なお、当該実績がない場合は、公益財団法人日本サッカー協会が定める「スタジアム標準」におけるクラス1のスタジアムで採用できる水準であることを明示できる場合のみ導入可能とする。			
		(ア)	平均演色評価数 65以上			
		(イ)	相関色温度 5,000K以上			
		(ウ)	調光機能付き			
		(エ)	光源寿命（光束維持率85%） 40,000時間以上			
		イ	ピッチ内の光環境は、次の要件を満たすこと。			
		(ア)	水平面照度は、ピッチ内を少なくとも10m×10mのグリッドに分割して測定したとき、いずれの場所でも1,500ルクス以上となること。			
		(イ)	均斉度（最小/平均）は、0.7以上とすること。			
		(ウ)	グレア制限値は、ピッチ内を少なくとも10m×10mのグリッドに分割して測定したとき、いずれの場所でも50以下となること。			
		ウ	照度は練習時、一般競技、公式競技、プロスポーツ競技等の幅広い利用種別に応じた照度の容易な切替えができること。			
エ	プロスポーツやイベント等の開催時に多様な演出が可能のように計画すること。					
オ	照明の制御は、事務室では必ず操作できること。					
カ	選手及び関係者に不快なグレアが生じず、観客と周辺地域においても漏れ光やグレアが生じないよう十分配慮すること。					
キ	-20℃～35℃の温度範囲において、問題なく動作すること。					

要求水準書				提案者記入欄		市	
項目	見出し		要求水準	確認	技術提案内容	確認	
			ク	照明塔からの落下防止対策を施すこと。			
			ケ	構造計算により強度確認を行うこと。			
	(3)	照明塔に関する事項	ア	照明塔の数は、原則として4基とすること。			
			イ	設置位置は、スタジアム標準等の基準を参照し、適切に配置すること。			
			ウ	基礎及び杭の設計に当たっては、必要に応じて地質調査を行うこと。なお、技術提案に当たっては、別添地質調査報告書を参考として検討すること。			
			エ	建築基準法等の関係法令に準拠した構造であること。			
			オ	耐風速は、60m/secを満たすこと。			
			カ	照明塔に雷保護設備として避雷針を設けること。			
			(4)	電気設備に関する事項	ア	国内での導入実績等を踏まえた信頼性のある機器を選定すること。	
	イ	設備の設置位置は、配電計画、騒音対策、施設の利用・維持管理、イニシャル・ランニング両コスト等を総合的に考慮した位置とすること。					
	ウ	低騒音型機器の採用のほか、消音・防音ボックス、防音壁等の設置など、適切な騒音対策を講じること。					
	エ	設備周辺には、入り口の施錠が可能な保護柵を設置するなど、関係者以外が容易に立ち入ることができないための対策を講じること。					
	オ	自家発電機は、照明設備の使用1回当たりの最長時間を5時間と想定し、受電設備との組み合わせ等により、これに十分対応可能な運転ができること。					